

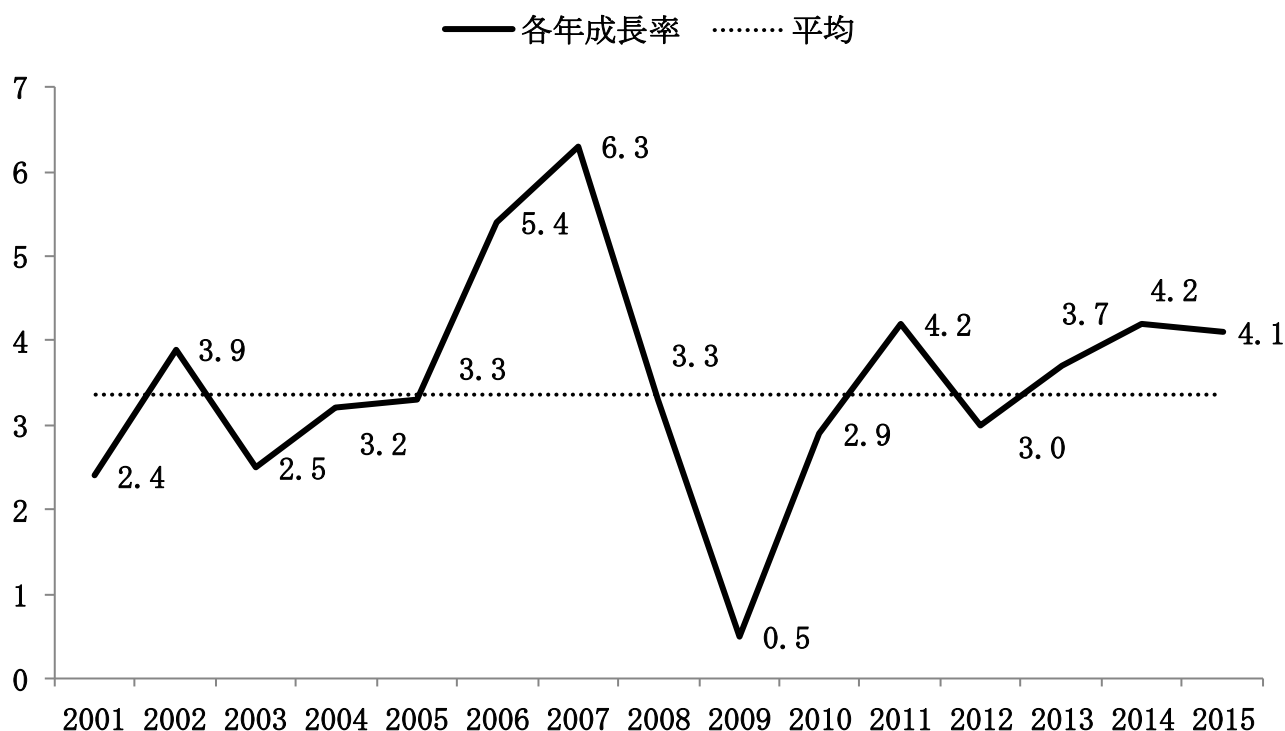
グラフで見る最近のグアテマラ経済社会事情

2016 年 1 月現在

1. 2000 年以降の当国経済成長率

グアテマラ中銀(Banguat)によると 2015 年の経済成長率は 4.1%となる見込みである。中銀発表の 2001 年から 2015 年までの当国経済成長率は以下の通り。なお同期間における平均年間経済成長率は 3.37%であった。

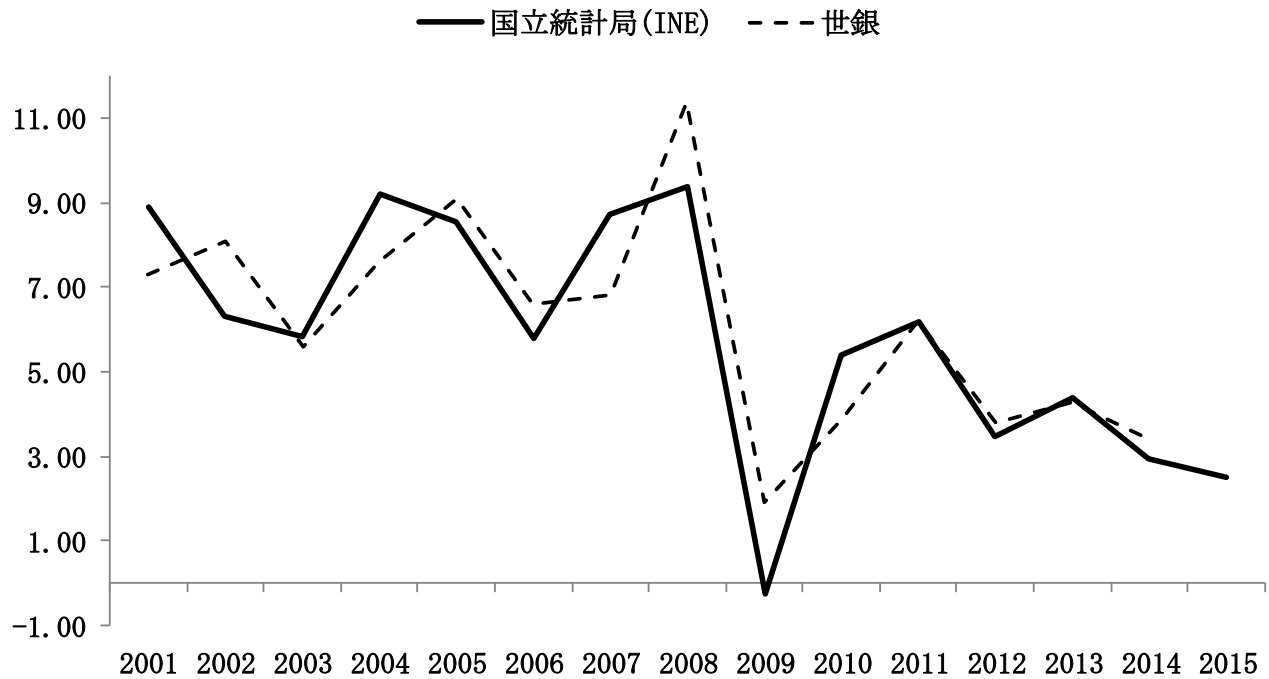
1. 1. グアテマラの経済成長率 2001 年-2015 年 (%)



2. 物価上昇率の推移

国立統計院(INE)及び世界銀行発表による 2001 年以降の当国インフレ率(%)は以下の通り。

2.1. インフレ率(年率、%)



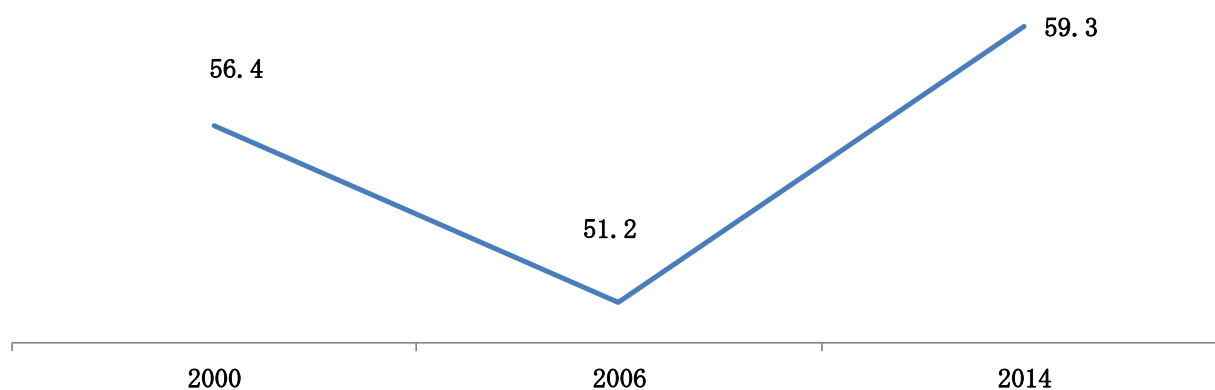
注：2015 年の指標は同 11 月時点での年率

3. 貧困率の推移

当国国立統計院(INE)によるとグアテマラの貧困ラインは年ベースで設定されており、2014年現在、一人当たり 10,218 ケツァル(約 1,362 米ドル。1 ドル=7.50 ケツァル換算)。一日(年ベース額/365 日=約 3.73 米ドル)に設定されている。グアテマラにおける貧困ラインは 2000 年以降 2 度改定された(INE 2015 年)。

国立統計院(INE)の貧困ラインを用いた 2000 年、2006 年及び 2014 年のグアテマラの貧困率は以下の通りであった。

3.1. グアテマラ貧困率(%): 2000-2014



なお、貧困率は先住民間で著しく高く、2014 年の先住民の貧困率は 79.2%に上る一方、非先住民の貧困率は 46.6%であった。

◆世銀の貧困率統計、中米各国経済規模と貧困率(世銀 2015)

2015 年 10 月、世銀は国際貧困ラインをそれまでの(一日一人当たり)1.25 米ドルから同 1.9 米ドルに引き上げた。2016 年現在、世銀は 2 つの国際貧困ライン(1.9 米ドル及び 3.1 米ドル)を用いている模様。

3.2. 中米諸国 GDP 及び貧困率

	GDP(億米ドル)	一人当たり GDP (米ドル)	貧困率(%)	
			US\$1.9ライン	US\$3.1ライン
ニカラグア	118	1,963	10.8	25.2
ホンジュラス	194	2,435	21.4	37.3
エルサルバドル	252	4,120	4.2	13.6
パナマ	462	11,949	4.4	9.9
コスタリカ	496	10,415	1.7	4.1
グアテマラ	588	3,673	11.5	26.5
ドミニカ共和国	641	6,164	2.6	10.2
メキシコ	12,947	10,326	2.7	10.3
ブラジル	23,461	11,384	4.6	9.3
インドネシア	8,885	3,492	－	－
中国	103,548	7,590	－	－

出典：世銀 2015

注：貧困ラインは一日一人当たり。

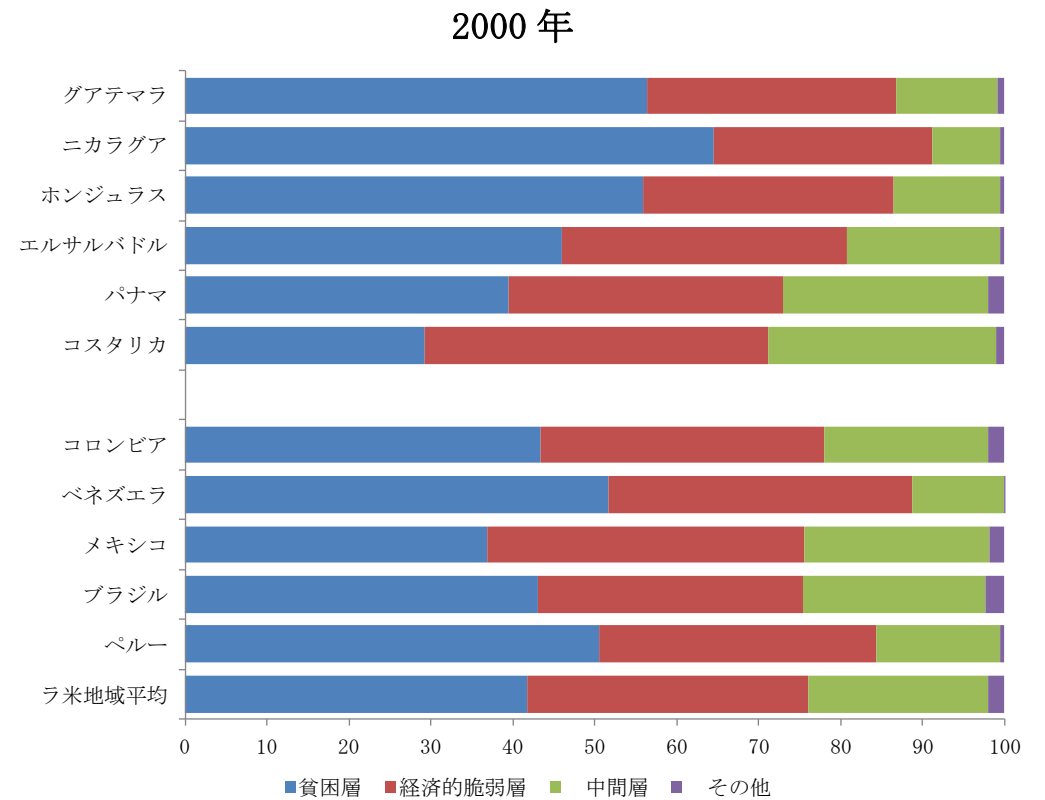
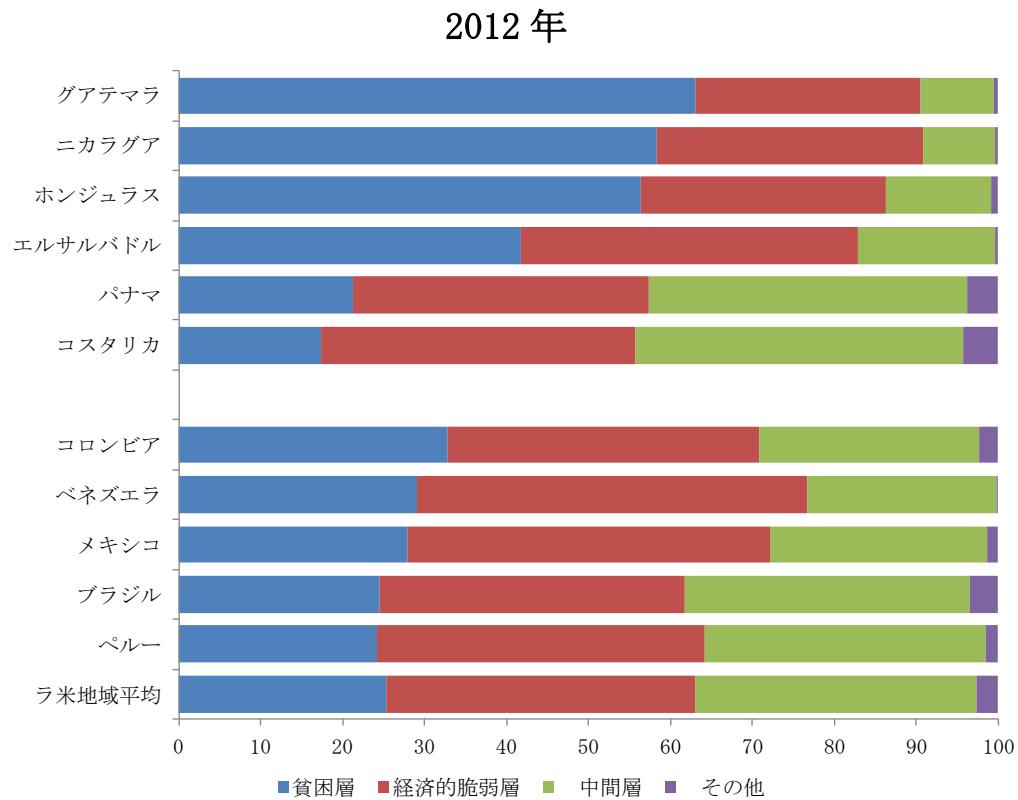
4. 中南各国の所得層別分布

国連(UNDP)の指標¹によると、2000年のグアテマラの貧困層は56.3%、経済的に脆弱な層(vulnerable)は30.5%、中間層が12.3%で残りの0.9%が富裕層(当館注：参照した資料ではResidualとあり富裕層とは述べていないが残りには富裕層と想像した)であった。

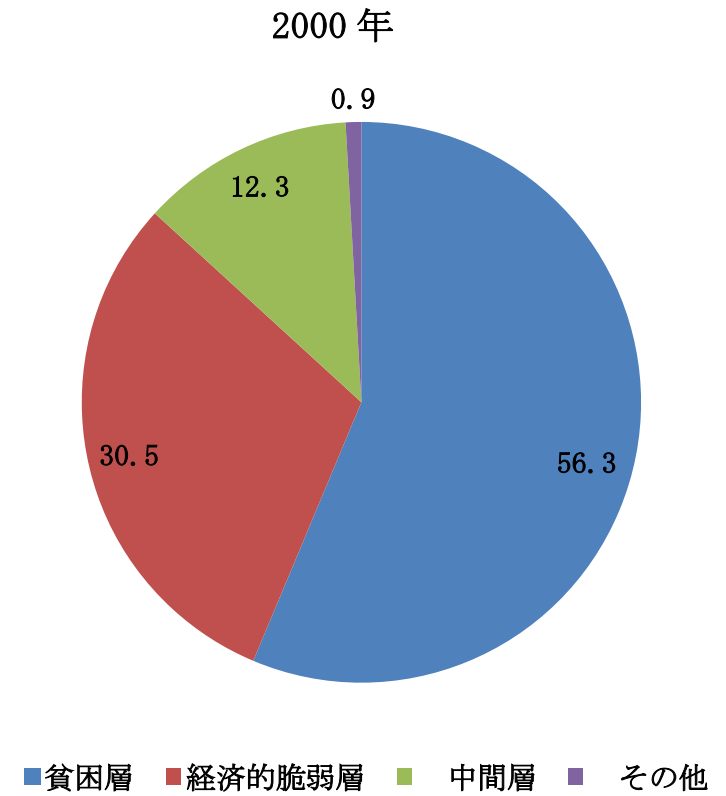
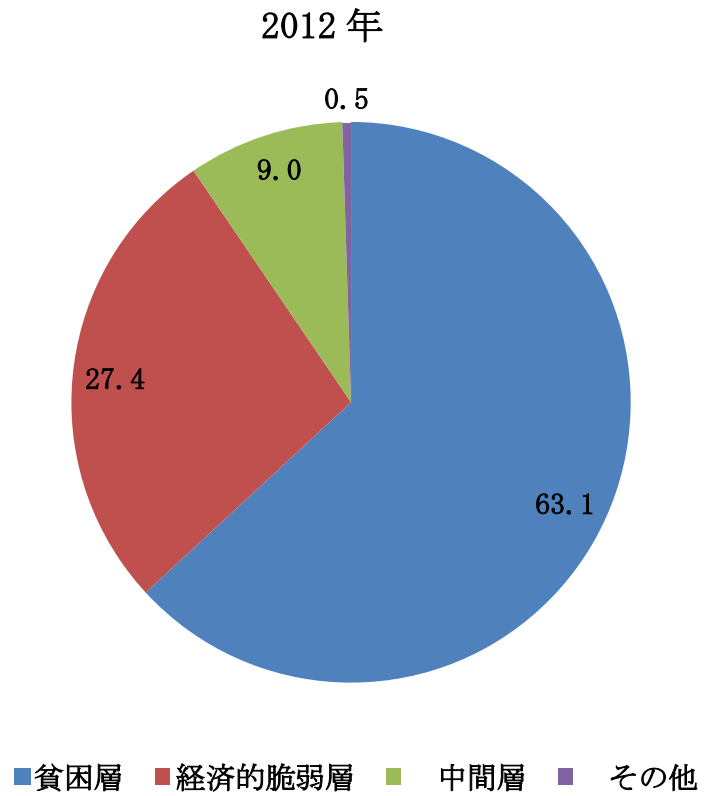
一方、2012年の同指標によるとグアテマラの貧困層は63.1%に上昇し、脆弱な層は27.4%、中間層は9.0%となった(残りの0.5%が富裕層と推測出来る)。なお、同指標において2012年現在グアテマラより中間層が小さい国はニカラグア(8.8%)のみである。中南米11カ国の同指標は以下のグラフの通り。

¹UNDP. *Perfil de estratos sociales en América Latina: pobres, vulnerables y clases medias*.

4.1. 中米等 12 カ国所得層分布 (2000, 2012)

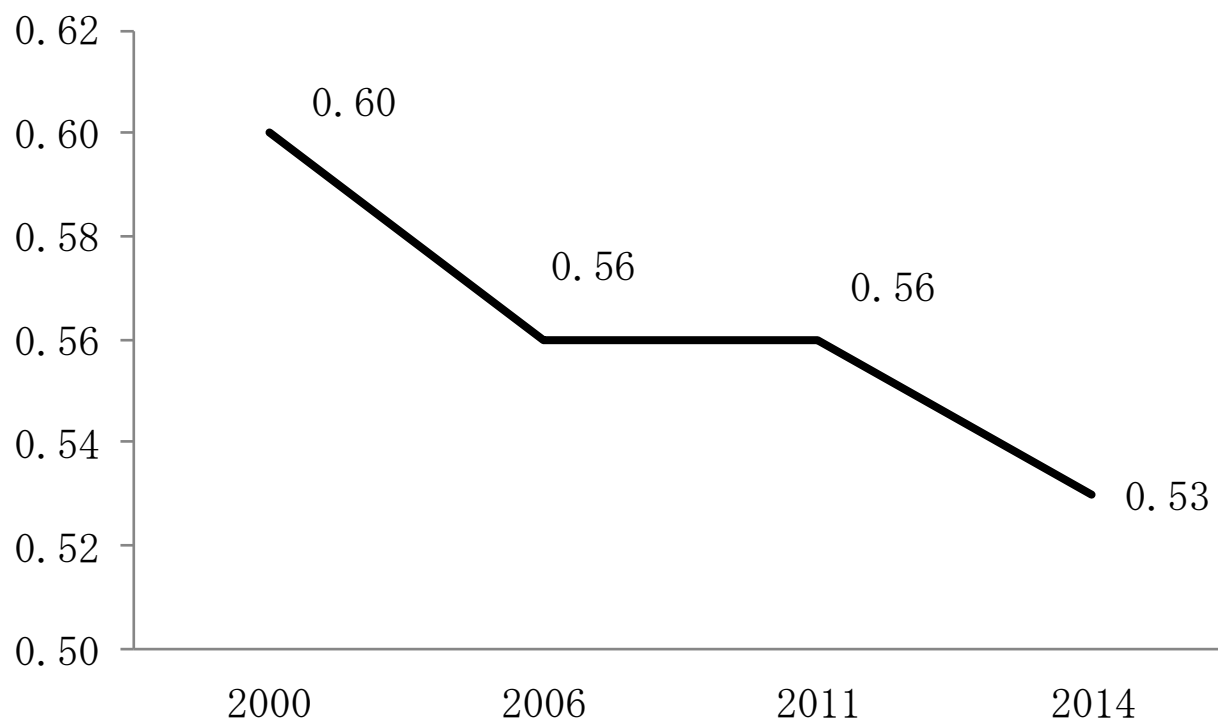


4.2. グアテマラ所得層別分布(2000, 2012)



なお、グアテマラ国立統計院(INE)によると当国の経済格差は2000以降減少傾向(ジニ係数)にある。

4.3. グアテマラのジニ係数：2000-2014(国立統計院(INE))



注：ジニ係数は0から1の間で推移し、1に近い程所得格差が大きいことを示す。

5. 外国からの送金

多くの中南米諸国同様、グアテマラにおいても外国からの送金額が年々増加している。2014 年の海外からの送金額は前年比 8.5%の 5,837 百万米ドルに上った。中米諸国及びメキシコにおける 2014 年の海外からの送金額及び対 GDP 比同額は以下の通り。

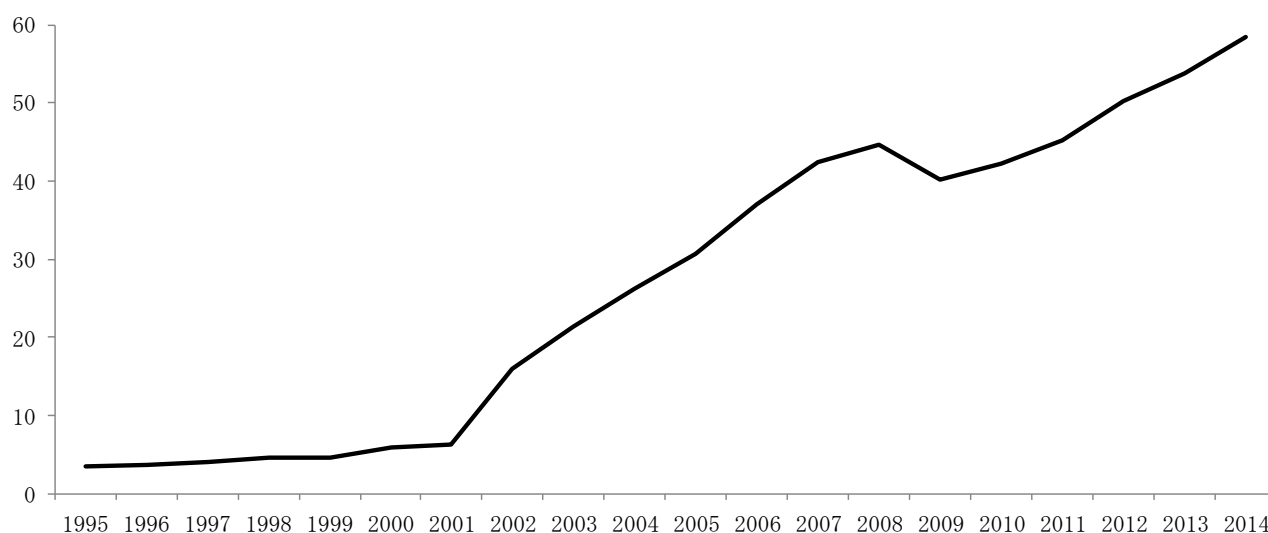
5.1. 中米各国の海外からの送金額と対 GDP 比率

	対GDP比送金額 (%)	送金額(百万米ドル)
ホンジュラス	17.4	3,370
エルサルバドル	16.8	4,235
グアテマラ	9.9	5,837
ニカラグア	9.7	1,140
パナマ	1.6	760
コスタリカ	1.2	594
メキシコ	1.9	24,462

出典：世銀 2015

また、1995 年から 2014 までのグアテマラに対する海外からの送金額(億米ドル)は以下の通りである。

5.2. グアテマラへの海外からの送金額推移(95-2014)



出典：世銀

6. 妊婦死亡率

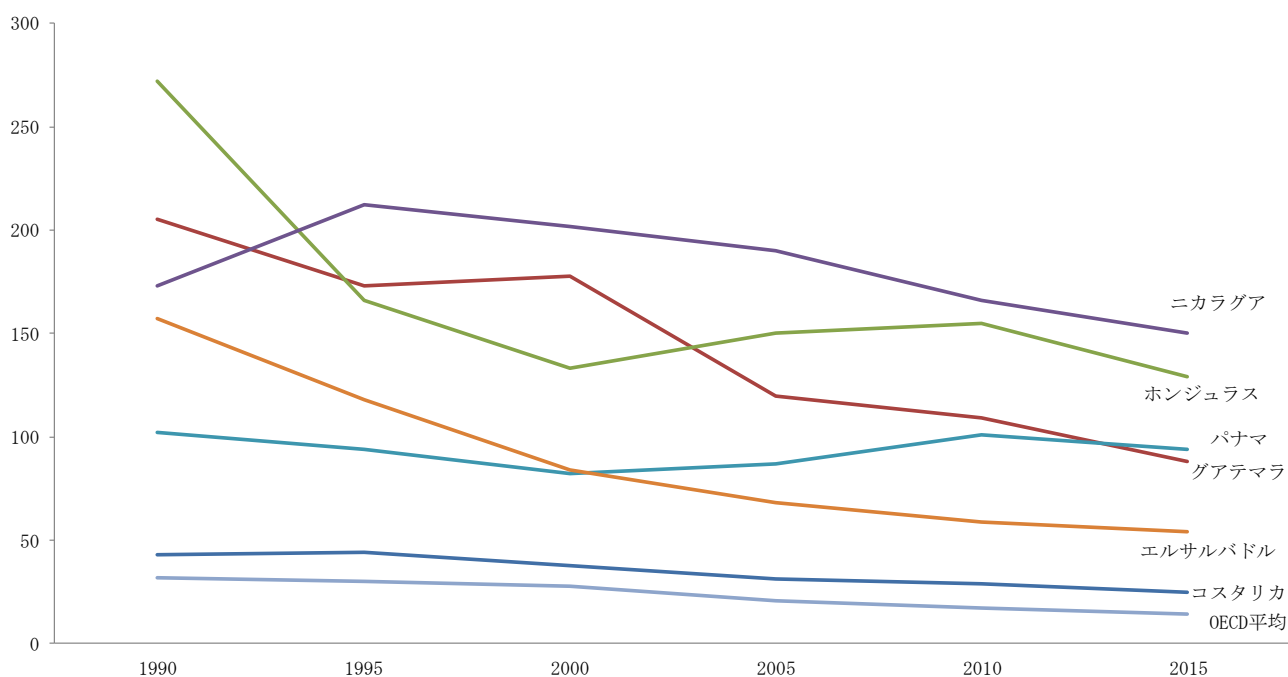
世界保健機関(WHO)の発表によると、2000年以降グアテマラにおける妊婦死亡率は減少傾向にあるものの、OECD諸国と比べると依然高い水準にあると共に、中南米平均率(2014年は妊産婦10万人中69人)も上回っている。

6.1. グアテマラにおける妊婦死亡率：1990-2015

1990	1995	2000	2005	2010	2015
205	173	178	120	109	88

注：死亡数の単位は人、妊産婦死亡率の単位は妊産婦10万人中の人

6.2. 中米諸国における妊婦死亡率：1990-2015



注：死亡数の単位は人、妊産婦死亡率の単位は妊産婦10万人中の人